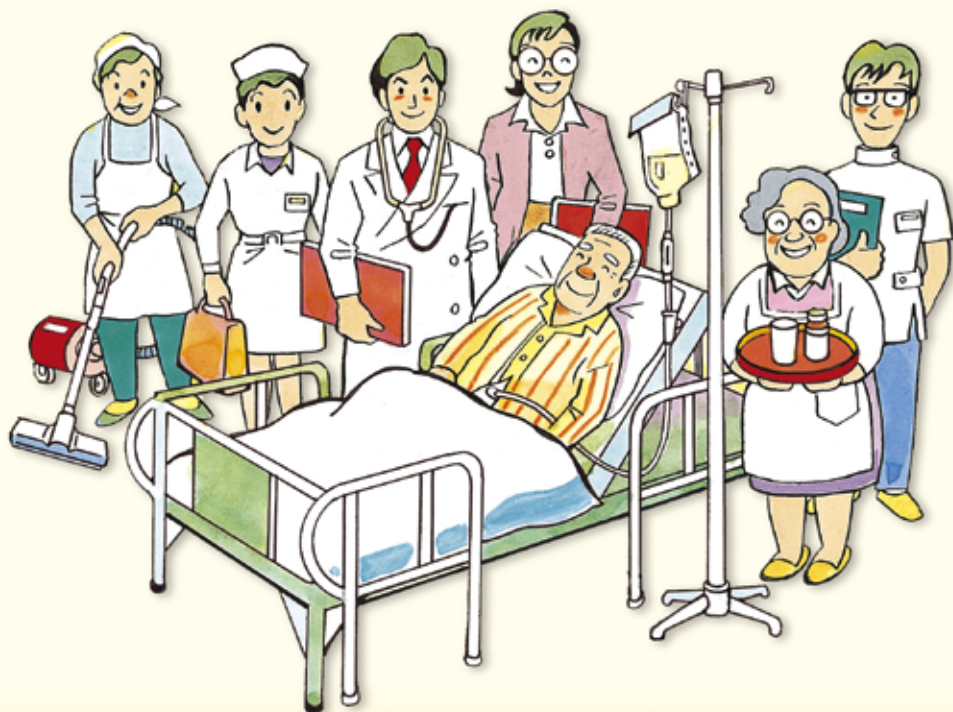


「多摩胃ろうネットワーク」 の手引き

第二版

ご家族と在宅医療の関係者の皆様へ
胃ろうについてお困りの時は「相談窓口」にご相談下さい



目次

ご挨拶	1
多摩胃ろうネットワークのご紹介	2
地域連携IT化について	3
参加施設・協力施設図	4
ホームページのご案内	6
多摩胃ろうネットワーク病院 相談窓口	7
胃ろうの基礎知識	
胃ろうの造設と管理	10
ボタン型の特徴と注意点	12
胃ろうの交換	13
摂食・嚥下について	
嚥下外来を受診する前に…	14
摂食・嚥下障害とは…?	14
嚥下障害を引き起こす疾患及び状態	15
どのようなときに、摂食・嚥下障害を疑うのか?	15
摂食・嚥下障害が疑われた場合の対応	16
嚥下障害アセスメントツール(評価シート)	17
スクリーニングテスト	18
栄養剤の選び方	19
選択フローチャート	20
栄養剤の種類	21
合併症の対策と処置	
PEG造設に伴う合併症	22
医師側の要因によるもの	22
造設後早期(ろう孔が不完全な時期)の合併症	22
PEG造設後、晩期の合併症	23
カテーテルのトラブル	23
ろう孔周囲のトラブル	24
全身状態のトラブル	25
胃ろう(造設・交換)診療情報提供書 サンプル	26
協力機関のご案内	27
参加施設・協力施設一覧	28
賛助企業紹介	29

ご挨拶

「多摩胃ろうネットワークの手引き」が2007年8月に出されてから4年の月日が経ちました。この冊子は最先端の知識や技術の紹介というより、患者さんやそのご家族、最前線の介護の場で働く皆様が側におき、役に立つ冊子という趣旨で作られたものです。これまで沢山の皆様にご利用いただき感謝しています。

2007年に多摩市に始まった多摩胃ろうネットワークの活動も現在では南多摩医療圏の5市(多摩市、八王子市、町田市、稲城市、日野市)にその活動の場を広げています。この間多摩胃ろうネットワークは2008年にNPO法人となりその活動もより広く、内容も充実してきています。また胃ろうの管理、技術、器材、栄養剤等も進歩し現状に合わないところも出てきたため、このたび第2版を発行することになった次第です。

いま社会は急速に高齢化がすすみ、在宅ケアが重要な時代になっています。そのなかで経口摂取できない患者さんが栄養を取る方法として胃ろうは重要な手段になっています。今回の冊子も介護に携わる専門職だけでなく、本人やご家族が最新の情報やその実践的技術を知り役に立つように誰にも分かりやすくという初版の趣旨を外れないように作られています。お手元に置きご活用いただきたいと思います。

またNPO法人多摩胃ろうネットワークは胃ろうの安全な普及を目指し勉強会、実践的な研修会を定期的に開催しています。機会がありましたら是非参加していただきたいと思います。

尚これらの情報は多摩胃ろうネットワークのホームページにも載せています。あわせてご利用ください。

2010年1月

NPO法人 多摩胃ろうネットワーク 顧問
多摩南部地域病院 院長 小池順平



多摩胃ろうネットワークのご紹介

発足の経過と今後

平成17年11月に多摩市医師会の病院委員会で、「胃ろうの勉強会(PDNセミナー)」が実施され、これをきっかけに、病院委員会で胃ろうのネットワークを作ろうという提案がなされました。

多摩南部地域病院の小池医師が音頭をとり、ネットワーク作りをする事となりました。

多摩市内には胃ろうの造設・交換を行っている施設は5施設あり、この5施設を中心に「多摩市胃ろうネットワーク」を立ち上げました。

毎年、医療者向けのセミナーや市民公開講座を開催し、平成20年4月より、連携バス作成に着手。

平成20年9月特定非営利活動法人多摩胃ろうネットワークとして法人登記。

平成21年摂食嚥下及び胃ろうの地域連携バス完成。運用開始。

このような胃ろうや摂食嚥下のセミナーや地域の医療関係者との会議を繰り返し、「胃ろうの適正で安全管理」の普及と「地域のセーフティーネット」として多摩地区でのネットワークの拡大とともにより密できめの細かい対応ができるようIT化に取り組んでいます。

患者さんやご家族の困りごとに応えられるネットワークを目指して活動しております。

NPO法人 多摩胃ろうネットワーク 理事長
宮脇 誠

NPO法人 多摩胃ろうネットワークは、平成21年度より地域連携IT化に取り組んでいます。

総務省のモデル事業として2010年2/2からスタートしました。

正式名称は、地域情報通信技術利活用推進交付金(ユビキタスタウン構想推進事業)による「遠隔医療ー地域連携バスIT化による多職種参加の地域連携推進事業」といいます。多摩市との協働事業として胃ろう患者を主とした、在宅医療を核としたものです。

多摩ニュータウンの高齢化・核家族化は深刻な問題となっています。そのため、医療・介護の関係者が参加した地域連携バスをIT化し、インターネットを利用した地域連携システムのブロードバンドネットワーク環境を活用し、多職種による患者情報の共有化を図り、在宅医療及び在宅支援の充実で、患者が安心して地域社会で生活できるようにするものです。

地域連携システムを利用することで以下のことが可能になります。

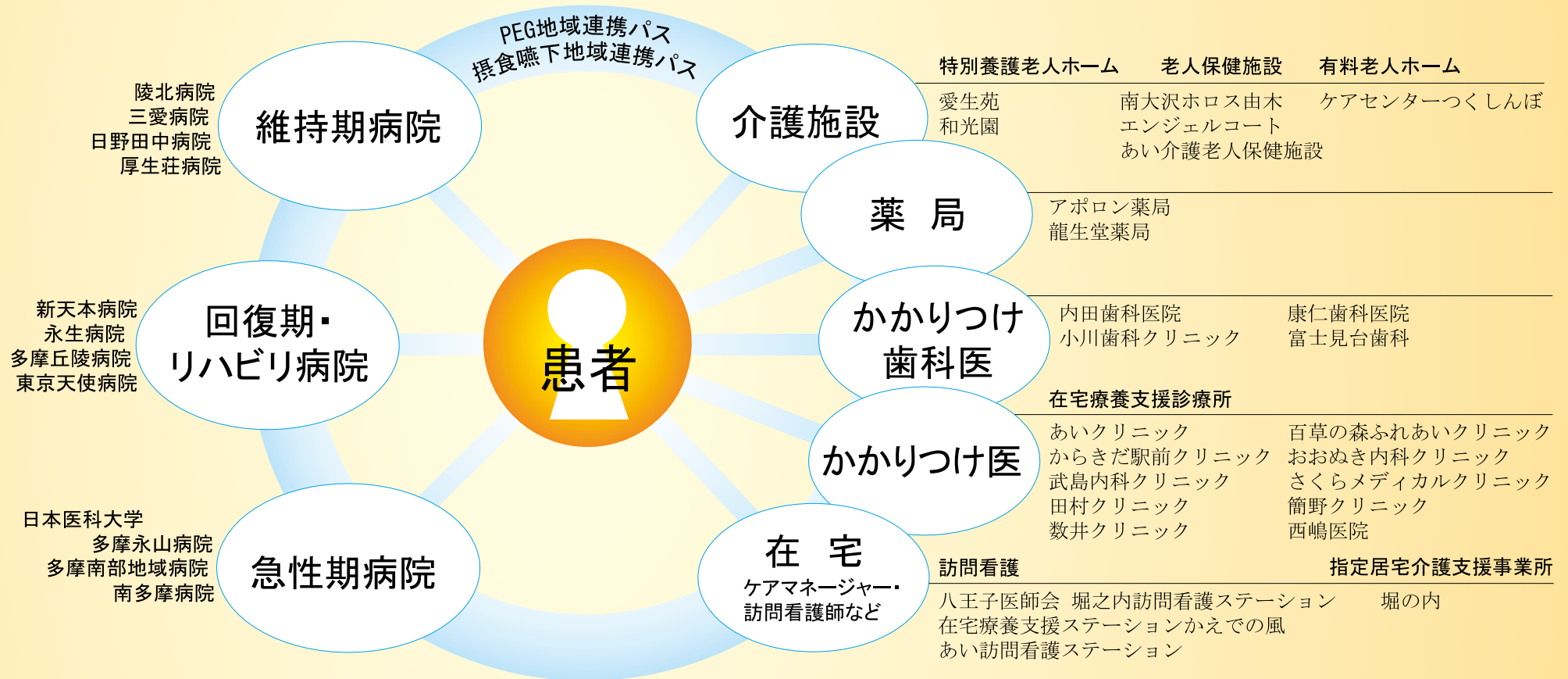
- ①IT化した地域連携バスにより情報を共有することで、医療者間の連携を核に、医療・介護に関わる多職種の従事者が従来以上にスムーズに連携できる。
 - ②地域の医療機関をブロードバンドでつなぎ、遠隔医療システムによって、画像情報の送受信による専門医のコンサルテーション体制が構築されるため、病病、病診連携強化され在宅医療がレベルアップし充実する。
 - ③医療関係者と介護関係者が連携し、共通のマニュアルを使用することでケアの標準化による適正な患者管理を可能とし、患者のQOLの維持あるいは向上が図れる。
 - ④胃ろう・摂食嚥下に関する各マニュアル(手引書)の普及啓発活動は、胃ろうのみならず栄養管理の継続につながるため、栄養状態改善による免疫力向上・合併症予防やQOL向上につながる。
 - ⑤患者家族にとって、地域ネットワークによる支援体制が構築されることで介護負担が軽減され、また、介護・医療系の人材不足の折からICT活用した有効な在宅支援につながる。
 - ⑥胃ろう以外の地域連携バスIT化(脳卒中・大腿骨頸部骨折・がん等)のための基盤ができ、他の地域連携バスへの拡大利用できる。
- ※なお利用者・参加者等に対しては、個人情報保護措置を必ず遵守するように徹底しています。

事務局 大津陽子

NPO法人 多摩胃ろうネットワーク

参加施設・協力施設図

各施設の連絡先は28頁をご覧ください。



NPO法人
多摩胃ろうネットワーク

〒192-0355 東京都八王子市堀之内469-2 グランレグナス416号
URL: <http://www.tama-irount.com>
E-mail: ohtsuyoko7110@yahoo.co.jp(理事:大津陽子)

多摩胃ろうネットワークホームページ
<http://www.tama-irount.com/>

胃ろうの基礎知識をはじめ、参加医療機関の相談窓口の情報や栄養剤・濃厚流動食の情報、栄養剤の購入・サンプル提供、研修会の情報などの閲覧や各種ダウンロードをご利用いただけます。ぜひ、ご活用ください。



ご予約の前に診療情報提供書をご用意下さい。

診療情報提供書は、かかりつけの病院の先生に書いてもらいましょう。

- ホームページから、多摩胃ろうネットワークの胃ろう（造設・交換）診療情報提供書をダウンロードできます。

胃ろうの増設交換に対応できる病院/クリニック

- ・新天本病院
- ・日本医科大学多摩永山病院
- ・多摩南部地域病院
- ・厚生荘病院
- ・永生病院
- ・陵北病院
- ・数井クリニック
- ・あいクリニック
- ・からきだ駅前クリニック

摂食・嚥下障害機能の評価とリハビリができる病院

・新天本病院

※予約が必要です。相談窓口にお問い合わせ下さい。

※診療情報提供書をご用意下さい。(26頁参照)

－かかりつけの病院の先生に書いてもらいましょう。

－施設の方は嘱託医にご相談下さい。

「食べさせて良いのか悪いのか？」

「食べさせるとしたらどのように始めるのか？」などの疑問は
 まず…「摂食・嚥下について」(14頁)をお読み下さい。

緊急時の対応ができる病院(腹膜炎併発時など)

- ・日本医科大学多摩永山病院
- ・多摩南部地域病院

- 腹膜炎併発時など外科的処置(腹腔ドレナージなど)が必要と考えられる場合は、上記施設に連絡しご相談ください。

※外科医不在の時は、対応できないこともあります

もし、胃ろうカテーテル(チューブ)が抜けてしまったら……22頁をご参照ください。

地域連携バスに関する問い合わせ先

- ①事務局 大津陽子
- ②新天本病院 副院長 淵野純子
新天本病院 代表電話:042-310-0333
- ③多摩南部地域病院 看護相談係 信夫あき子
多摩南部地域病院 代表電話:042-338-5111



地域連携バス ファイル
 胃ろう造設・交換
 (患者・ご家族用)



医療法人財団天翁会 新天本病院

〒206-0036 多摩市中沢2-5-1

連絡窓口	看護科
電話	042-310-0333 内線：3003
FAX	042-310-0311
連絡相談員	淵野純子(看護師)
E-mail	fuchino@ten-ou-kai.or.jp
対応時間	月～金 8：30～17：00
上記以外の 時間について	連絡窓口(土曜日)：医療福祉相談室 電話 042-310-0377
	FAX 042-310-0378
	平井理香(MSW)、淵野純子(看護師)が応対 (日曜日、緊急夜間は代表電話：042-310-0333に連絡)



多摩南部地域病院

〒206-0036 多摩市中沢2-1-2

連絡窓口	地域医療連携室看護相談係
電話	042-338-5111 内線：2112
FAX	042-339-6112(医事課・地連)
連絡相談員	信夫あき子(看護師)
E-mail	zaitaku@tamanan-hp.com
対応時間	月～土 9：00～17：00
上記以外の 時間について	連絡窓口 救急外来 電話 042-338-5111 内線：2190
	FAX 042-339-6112(医事課・地連) 時間外は救急事務に転送されます。
	時間外は、救急外来 看護師が応対します。



日本医科大学多摩永山病院

〒206-8512 多摩市永山1-7-1

連絡窓口	外来外科 ※緊急時対応(腹膜炎併発が疑われる場合など)
電話	042-371-2111(代表)
FAX	042-372-7381(代表)
連絡相談員	津久井 拓(消化器科・医師)、宮本昌之(外科・医師)
対応時間	月～金 9：00～16：00 土 9：00～12：00
上記以外の 時間について	連絡窓口：外科 当直医(一般救急患者と同様の対応になります)
	電話 042-371-2111(代表) FAX 042-372-7381(代表)
	※外科医不在の時は、対応できないこともあります



厚生荘病院

〒206-0001 多摩市和田1547

連絡窓口	医事課
電話	042-374-3535 内線：27
FAX	042-371-6223
連絡相談員	篠田龍彦(MSW[医療相談員])
E-mail	byoin-1547@s9.dion.ne.jp
対応時間	月～金 9：00～17：00
上記以外の 時間について	対応していません



聖マリアンナ医大東横病院消化器・肝臓内科
厚生荘病院 医師 PDN理事 宮脇 誠

胃ろうの造設と管理

胃ろうとは口から食事が摂れない状態の方が栄養を補給するひとつの方法です。

内視鏡を使っておなかから胃に通じる小さな穴を開け、ここにカテーテルを通して胃に直接栄養を入れるための「小さな口」を造ります。



胃ろう造設術は歯を抜くときと同じ局所麻酔で行い、約15～20分程度で終わります。

カテーテルは直径7mm程度のやわらかいもので手術後の痛みもほとんどありません。合併症は出血や腹腔内臓器の損傷などがありますが、頻度は少ないです。

胃ろう造設後の日常生活に制限は特にありません。

直接胃にカテーテルが入っているため服を着ていると普通の人とかわりません。食事の制限もなく食べられます。食事を食べる練習もしやすくなります。(もとの病気が治るわけではありません。)在宅介護はむしろしやすくなります。

注入する栄養剤もニーズにあわせて選べます。

入浴はシャワーはもちろん、そのままバスタブにつかってもおなかに水がはいることはありません。

リハビリもボタン型のカテーテルにすればひっかかって胃ろうが取れる心配もなくどんどんできます。



次に胃ろうの管理ですが、基本的には胃ろう周囲を清潔に保つことです。

胃ろう周囲についた粘液や皮膚の汚れは毎日洗ったり濡れタオルでふきとったりします。

胃ろうからの液漏れがなければガーゼ等をあてる必要はありません。少し液漏れがある場合はティッシュをこより状に巻きつけて下さい。もし、栄養剤の漏れがある場合は注入速度をゆっくりしてみましょう。それでも、栄養剤がもれたり胃ろう周囲が赤くなったり、出血したりする場合は看護師や医師に相談してください。

栄養剤を注入する場合は30度位上体をおこすか、右側臥位にして1時間位かけて注入してください。1回の注入量は500ml前後ですが、主治医の指示に従って下さい。栄養剤の注入中に嘔吐したりむせたりした場合は栄養剤の注入をやめて様子を見て落ち着いてからゆっくり注入してください。

栄養剤や薬を注入した後は必ず注射器で30～40ccの水でカテーテル内を強く洗い流してください。(カテーテルが詰まってしまいます)

水で洗い流した後に、酢水の充填や専用のクリーニングブラシを使うとカテーテル内がきれいに保てます。

カテーテルが抜けたり詰まったりした場合はすぐに看護師や医師に相談してください。

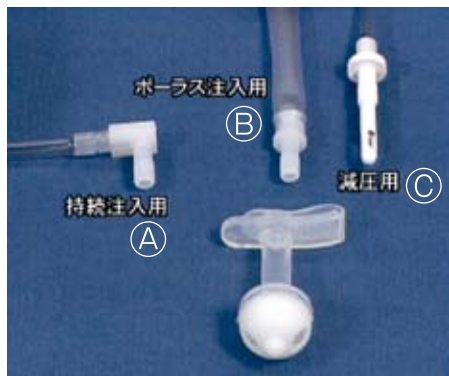
最後に口から食事をしていない患者さんも歯みがきをして口の中は清潔に保ちましょう。

胃ろうの管理は決してむずかしくありません。

ご家族の方が安心して管理できます。



ボタン型の特徴と注意点



- ①先端が直角に曲がった持続投与用
- ②まっすぐのボラス(手押し)投与用
- ③減圧用

- 接続チューブをつけて、やっと一人前です。
- メーカー純正の規格の合ったものを使用して下さい。

バンパー型ボタンタイプの注意点

ボタン内または瘻孔周囲から栄養剤等が漏れる場合、胃内圧が高まっていることが原因である場合があります。
減圧を行ってから栄養剤等を注入して下さい。

胃の中のガスを抜く(減圧)ためには、正しいサイズのフィーディングチューブ(減圧用)をガストロボタンの中に挿入して下さい。
ガストロボタン内部の逆流防止弁が開き、フィーディングチューブ(減圧用)の中を通して胃内のガスが体外に出ます。



胃ろうの交換

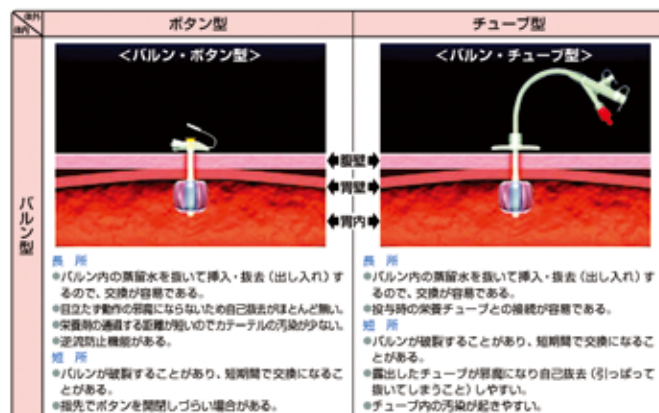
胃ろうチューブにはボタン型とチューブ型があり、それぞれにバルーン型、バンパー型があります。(色々な会社から出ていますが基本はこの4パターンしかありません。)

高齢の方が介護される場合はチューブ型、ご本人が無意識に引っ張ってしまう方はボタン型が基本になります。

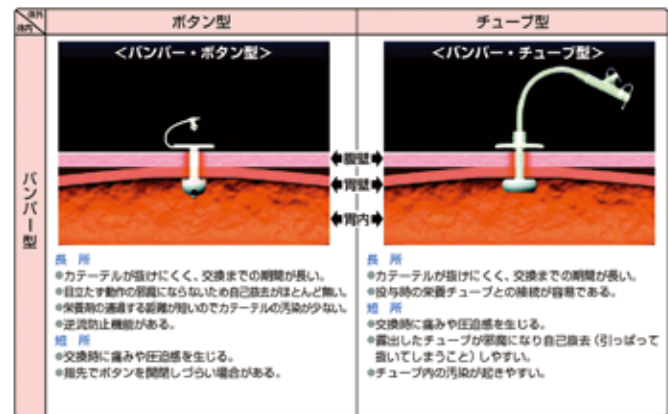
胃ろうは胃酸にさらされるために定期的な交換が必要になります。

バルーン型は1~2ヶ月ごと、バンパー型は4~6ヶ月ごとの交換が必要になります。

カテーテル種類と特徴



■バルーン型



■バンパー型



新天本病院 リハビリテーション科
専門医 高田 耕太郎

嚥下外来を受診する前に…

“摂食・嚥下”すなわち“食べる”ことは、生態の恒常性を維持する上での最も重要な要素の一つであると同時に、人間の最も基本的な欲求のひとつです。しかし、不適切な経口摂取は、誤嚥による肺炎あるいは窒息などの危険を伴います。そのため、摂食・嚥下障害が疑われる場合は、その原因を検索した上で適切な対処を行うことが必要です。

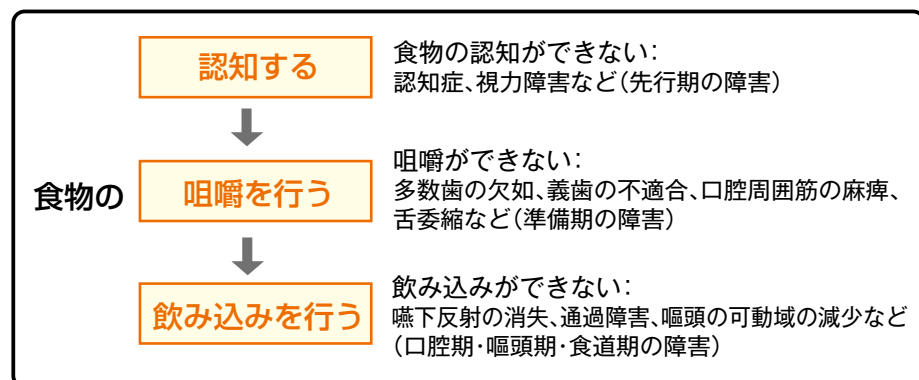
摂食・嚥下障害とは…？

摂食・嚥下の流れ

“摂食”とは口から食べ物を摂取すること、“嚥下（運動）”とは食べ物を口から飲み込んで、胃の中まで送る一連の運動です。この“摂食・嚥下”は、食物の“認知”、“咀嚼”、“飲み込み”によって成り立っています（表1）。

これら一連の過程の一部でも障害されれば、摂食・嚥下障害が起こります。

（表1）摂食・嚥下の流れと摂食・嚥下障害



上記以外に、うつ病あるいはうつ状態などによる意欲の低下、食事動作に関連する上肢・体幹機能の低下、疲労などにより、食事摂取量が低下する場合があります。

嚥下障害を引き起こす疾患及び状態

嚥下障害は、嚥下に関連する器官（歯・舌・口唇・軟口蓋・咽頭・喉頭など）に、器質的あるいは機能的障害を起こす様々な疾患により発生します。

- 咽頭・喉頭・食道など局所の腫瘍・炎症性疾患
- 脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、脳炎などの中枢神経障害を伴う疾患
- パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患
- ギランバレー症候群などの末梢神経障害
- 筋ジストロフィー、重症筋無力症などの筋疾患
- 肺炎などの呼吸器疾患
- 薬剤による副作用
- 認知症、うつ病、うつ状態
- 注意力障害などの高次脳機能障害
- う歯、義歯不適合
- 頭頸部、食道の放射線治療の後遺症、手術後の障害
- 気管切開、挿管、手術後の後遺症
- 加齢に伴う変化

など

どのようなときに、摂食・嚥下障害を疑うのか？

摂食・嚥下障害は様々な状況により発症します。

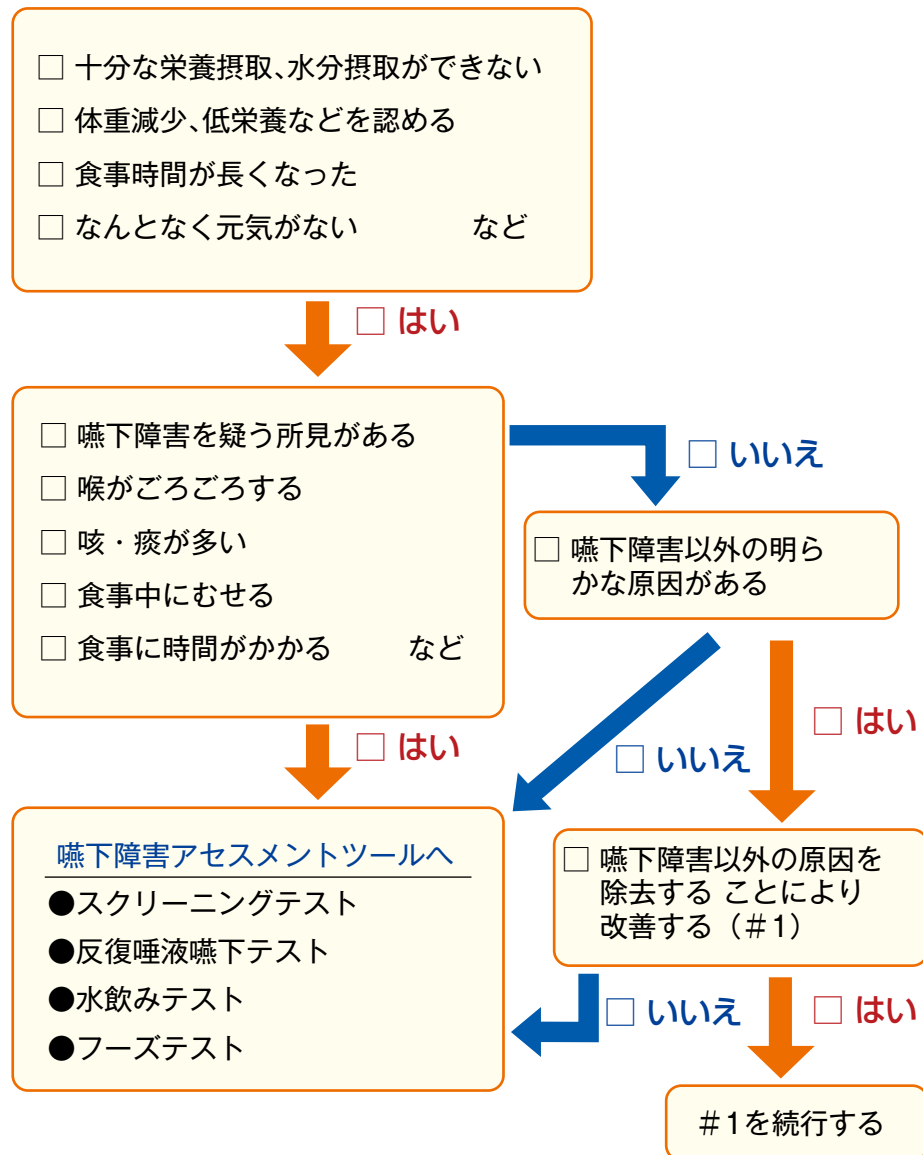
以下のような症状がある場合はその存在を疑い、原因を検索した上で適切な処置が必要となります。

- 喉がごろごろする
- 咳・痰が多い
- 食事中にむせる
- 食事に時間がかかる
- 食事量が減った
- なんとなく元気がない
- 熱発、肺炎を繰り返すあるいはその既往がある

※上記のような症状がある場合は

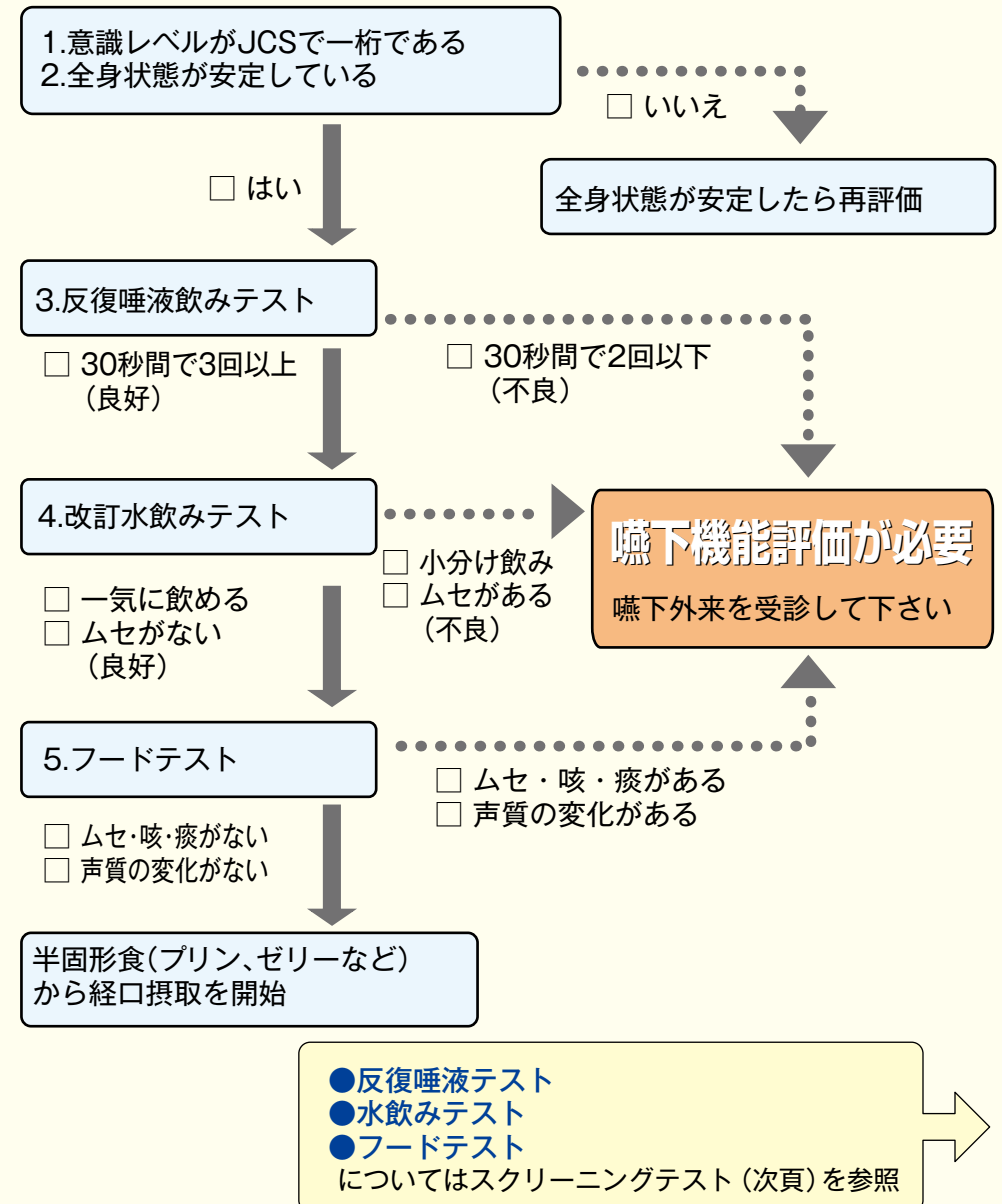
“摂食・嚥下障害が疑われた場合の対応”（次頁）へ➡

摂食・嚥下障害が疑われた場合の対応



嚥下障害アセスメントツール(評価シート)

●患者さん・ご家族だけではテストしないでください。
必ずかかりつけの医師や訪問看護師と一緒にアセスメント・スクリーニングテストをしてください。



スクリーニングテスト

- 患者さん・ご家族だけではテストしないでください。
必ずかかりつけの医師や訪問看護師と一緒にアセスメント・スクリーニングテストをしてください。

1. 反復唾液飲みテスト(repetitive saliva swallowing test: RSST)

患者に空嚥下を反復してもらい、嚥下反射の随意的な惹起機能を評価するスクリーニング法。

口腔乾燥がある場合には湿潤させてから施行する。

〈評価〉 30秒に3回以上であれば良好 / 30秒に2回以下であれば不良

2. 改訂水飲みテスト(modified water swallow test: MWST)

3mlの冷水を口腔内に入れて嚥下してもらい、嚥下反射誘発の有無、ムセ、呼吸の変化を評価する。3ml冷水の嚥下が可能な場合には、さらに2回の嚥下運動を追加して評価する。評価が4点以上の場合は、最大3回まで試行し、最も悪い評点を記載する。

〈評価〉

- 1点 嚥下なし、ムセまたは呼吸変化を伴う
- 2点 嚥下あり、呼吸変化を伴う
- 3点 嚥下あり、呼吸変化はないが、ムセあるいは湿性嚙声を伴う
- 4点 嚥下あり、呼吸変化なし、ムセ、湿性嚙声なし
- 5点 4点に加え、追加嚥下運動(空嚥下)が30秒以内に2回以上可能
判定不能 口から出す、無反応

3. フードテスト

ティースプーン1杯(3~4g)のプリンなどを嚥下させてその状態を観察する。嚥下可能な場合には、さらに2回の嚥下運動を追加して評価する。評点4点以上の場合は、最大3回まで試行し、最も悪い評点を記載する。

〈評価〉

- 1点 嚥下なし、ムセまたは呼吸変化を伴う
- 2点 嚥下あり、呼吸変化を伴う
- 3点 嚥下あり、呼吸変化はないが、ムセあるいは湿性嚙声や口腔内残留を伴う
- 4点 嚥下あり、呼吸変化なし、ムセ、湿性嚙声なし、追加嚥下で口腔内残留は消失
- 5点 4点に加え、追加嚥下運動(空嚥下)が30秒以内に2回以上可能
判定不能 口から出す、無反応

栄養剤の選び方



適切な栄養剤／流動食を選ぶために……

経管栄養剤、濃厚流動食には、様々な種類があり、「どれを選んだらいいのかわからない。」という声を耳にします。経管栄養剤、濃厚流動食にはそれぞれ特徴があることから、選択に当たって次に示すようなフローチャートを利用することも一つの方法です。

基礎疾患がある場合は、かかりつけ医とよく相談の上、必要があれば検査等を行ってから決定することをお勧めします。また、経管栄養剤(薬剤)を使用する場合は、医師の処方箋が必要です。



日本医科大学多摩永山病院
外科医師 宮本昌之

PEG造設に伴う合併症

1 医師側の要因によるもの

・誤穿刺によるもの：横行結腸、肝外側区域等

PEG造設時、腹壁を介して胃壁を穿刺する際には、医師は特に慎重に、内視鏡挿入後、①透過光による位置の確認、②触診による確認等を行い、また、③場合によっては事前のCT等による位置確認も併用していますが、まれに誤穿刺が起きることもあります。

➡大部分のケースでは、直ちに手技を中止し、禁食、抗生物質投与等の経過観察で自然に治癒しますが、中には、外科的処置が必要になるケースもあります。

2 造設後早期(ろう孔が不完全な時期)の合併症

・カテーテルの事故抜去

胃に入っているチューブは、バンパー型、バルーン型など抜けにくい構造になっていますが、引っ掛けてしまったり、バルーンがしぼんでしまったり、患者さんが引き抜いてしまったりして、抜けてしまうことがあります。また、PEGでは、腹壁と胃壁の癒着・ろう孔形成に2～4週間程度かかると言われています。したがって、カテーテル抜去の時期が10日前後である場合、あるいは栄養剤注入後の場合には、胃内容漏出による汎発性腹膜炎の出現の可能性があります。

➡入院中であれば症状とともに血液データ所見、CT・X線写真検査所見等の検討、により外科的処置の必要性を検討しますが、自宅あるいは施設内の場合、腹痛、腹部膨満、発熱等の症状の有無、全身状態を考慮し、救急病院への連絡が必要になります。たいていの場合、少量の腹腔内漏出であれば保存的治療が可能ですが、腹膜炎症状の増悪があれば、外科的に腹腔ドレナージが必要になるケースもあります。

PEG造設後、晩期の合併症

1 カテーテルのトラブル

① 事故抜去

ろう孔完成後の事故抜去に関しては、腹膜炎併発の心配よりも、ろう孔の閉鎖の危険性を考慮しなければなりません。

ろう孔はチューブを抜いたままで置くと、約半日で自然閉鎖してしまい、同部位からの再挿入が困難になってしまう可能性があります。

➡早期にかかりつけ医等への連絡が必要になりますが、応急処置として、抜けてしまったカテーテルや代用チューブの挿入が必要になることもあります。これらの手技については、事前に指導をお受けになることをお勧めします。

② 汚れ・詰まり

胃チューブの内側に栄養剤がこびりつき、腐敗、カビの繁殖による汚染、さらには付着物が原因で栄養剤の注入ができなくなることがあります。



写真協力：滋賀PEGケアネットワーク

➡普段から、栄養剤注入後に30～40mlにぬるま湯を用いた洗浄フラッシュをすること。その後に酢水の充填。あるいは、チューブ専用のブラシを用いた洗浄が、汚れ、詰まりの予防に有効です。ただし、汚れ、詰まりが激しい場合は、新しいチューブと交換することをお勧めします。ボタン型の胃ろうであれば、チューブのみの交換も可能です。

③ バンパー埋没症候群

胃壁内に内部バンパーが埋まってしまった状態で、胃壁が外部ストッパーにより過度に圧迫されたことにより生じます。放置すると、せっかく完成したろう孔が壊れ、同部位からの胃ろうの再挿入が不可能になることがあります。

➡チューブの詰まりがないのに、注入がうまくいかない、カテーテルが回らない、栄養剤の漏れが激しいなどの状態が続けば、これを考え、かかりつけ医に連絡をしてください。

2 ろう孔周囲のトラブル

① ろう孔感染

胃ろう造設時に口腔内の細菌等による感染を起こしたり、その後、周囲の炎症が原因で細菌が繁殖した状態です。



写真協力：滋賀PEGケアネットワーク

→ろう孔周囲が赤く腫れたり、膿が出ている場合、きれいに洗い流し、場合によってはストッパーを緩める必要があります。発熱が見られたり、痛みが激しい場合はかかりつけ医、あるいは看護師に連絡をしてください。

② ろう孔の開大・漏れ

栄養状態の低下、チューブ固定による過度の圧迫、チューブサイズの不一致等が原因で、ろう孔とカテーテルの間に隙間が出来てしまうことがあります。これを開大といい、漏れを引き起こす原因となります。漏れは、それ以外にも、胃腸の動きが悪い場合、栄養剤の注入速度が速すぎる場合などにも起こり得ます。

→ろう孔とカテーテルの間からの栄養剤の漏れが激しく、周囲皮膚のトラブルの原因となる場合、栄養剤注入時の姿勢や注入速度、お腹の張り具合をもう一回チェックした上で、かかりつけ医、あるいは看護師にご相談の上、場合によってはカテーテルの調節、交換が必要になります。

③ ろう孔周囲の出血

周囲皮膚の不良肉芽、びらん、潰瘍形成により少量の出血を起こすことがあります。原則的にはいずれも、カテーテルのきつい圧迫や、不安定な固定による擦れなど、周囲への刺激が原因となります。



写真協力：滋賀PEGケアネットワーク

→カテーテルの固定や向きを工夫して、なるべく皮膚が擦れないようにするとともに、周囲を清潔に保つことを心がけます。重症の場合は、不良肉芽に対する外科的切除、硝酸銀処置、びらん・潰瘍保護の為のパウダー、皮膚保護剤等が必要になりますので、かかりつけ医、看護師にご相談ください。

3 全身状態のトラブル

① 内容物の逆流、嘔吐

栄養剤注入時の姿勢や注入速度、お腹の張り具合をもう一回チェックした上で、胃を圧迫しない姿勢で、減圧をした後、ゆっくりと投与。それでも改善傾向が見られなければ、腸閉塞の合併、誤嚥性肺炎への移行が危ぶまれるため、かかりつけ医、看護師に相談をしてください。

② 便秘

水分量の増加、腹部マッサージ等で対応。改善しない場合は、かかりつけ医、看護師に相談し、便秘薬投与、栄養剤変更を考慮してもらってください。

③ 下痢

栄養剤の濃度（薄めすぎているか？）、温度（冷たすぎないか？）、投与速度（早過ぎないか？）をもう一回確認。改善しない場合は、かかりつけ医、看護師に相談し、感染性腸炎の合併の有無を判断してもらい、場合によって、抗生剤、止痢剤等投与、栄養剤変更を考慮してもらってください。

④ 誤嚥性肺炎

内容物の逆流などが見られた後、微熱、痰、むせこみ、咳などが出現する場合、誤嚥性の肺炎が考えられるため、直ちに、かかりつけ医、看護師に連絡をしてください。

悩んだらすぐに、かかりつけ医、訪問看護の看護師等に相談してください！
外科的処置が必要と考えられる場合は、かかりつけ医から下記施設にご連絡ください。

＊ 日本医科大学多摩永山病院

＊ 多摩南部地域病院

(8,9頁参照)

※外科医不在の時は、対応できないこともあります

胃ろう(造設・交換)診療情報提供書 サンプル

●胃ろう造設・交換のためにご紹介いただく場合にご参照ください。●参照検査項目をご確認ください。

胃瘻(造設・交換)診療情報提供書			
紹介先医療機関名		平成 年 月 日	
病院 胃瘻担当医 紹介元医療機関の所在地及び名称 電話番号 医師氏名			
患者氏名		性別	男・女
生年月日	明・大・昭・平 年 月 日	歳	
主訴・診断			
既往症			
薬剤アレルギー 有() 無() 手術歴有() 無() 抗凝固剤内服有() 無() 抗凝固剤内服有の場合は入院一週間前より中止してください			
経過			
処方			
*データがありましたら……血算・生化・凝固・感染症データのコピーを添えてください 【参照検査項目】 血液: WBC・RBC・Hb・Ht・Plt 生化: TP・BUN・CRE・Na・Cl・K・T・BIL・GOT・GPT 感染症: ガラス板・TPHA・HBs抗原・HCV抗体 凝固: PT・APTT・フィブリノーゲン *37.5℃以上の発熱のある場合は胃瘻造設できません *Room airでSpO2 90%以下の場合は胃瘻造設できません *患者さんの状況により造設できない場合があります。 多摩市胃瘻ネットワーク 2008.5.15作成			

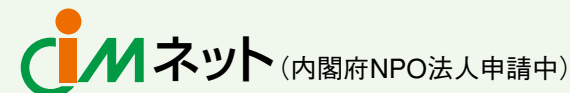
ご注意ください

*データがありましたら……血算・生化・凝固・感染症データのコピーを添えてください。

【参照検査項目】
 血液: WBC・RBC・Hb・Ht・Plt 生化: TP・BUN・CRE・Na・Cl・K・T・BIL・GOT・GPT
 感染症: ガラス板・TPHA・HBs抗原・HCV抗体 凝固: PT・APTT・フィブリノーゲン

- 37.5℃以上の発熱のある場合は胃ろう造設できません。
- Room airでSpO2 90%以下の場合は胃ろう造設できません。
- 患者さんの状況により造設できない場合があります。

協力機関のご案内



顔と人柄の見える人的融合が、地域連携IT化の基盤

医療が地域基幹病院だけで完結する時代は終わりました。退院後も患者・家族を地域でささえる医療・介護のセーフティネットの構築が大切です。急性期、回復期、維持期のすべてをシームレスにつなぐ医療と介護のインフラ整備が地域医療の要です。

シームレスなセーフティネット構築のために、IT化は必須の課題です。そのためには、顔と人柄の見える親密な人的基盤ができていことが大前提でなければなりません。多摩地区は、フレンドリーな医療従事者の交流を深め、地域連携IT化に先進的な取り組みをされています。

多摩からのメッセージ、全国の草の根活動に呼びかける

いつでも、どこでも、簡単に医療と介護を享受できる環境づくりは、全国規模で取り組むべき課題です。草の根から出発した多摩医療圏の活動が、共通の問題を抱える多くの地域で活用されることを願っています。

日進月歩の高度情報社会において、情報収集は最重要課題です。多摩胃ろうネットワークと目的を共有するCIMIは、地域医療圏と連携して、すぐれた実践モデルの構築を目指しています。



PDNは、経皮内視鏡的胃ろう造設術(PEG)に関する情報を、関連する医療情報とともに提供し、公益の増進に寄与する「NPO法人」です。多くのひとがPEGを正しく誤りなく理解できるように、多様なコミュニケーション手段によって、PEGの啓蒙をはかっています。PEGおよび関連する栄養管理についての包括的な情報をインターネット上のホームページに公開しています。



参加施設・協力施設一覧(五十音順)

種別	病院名	住所	電話番号
急性期病院	多摩南部地域病院	〒206-0036 多摩市中沢2-1-2	042-338-5111
	日本医科大学多摩永山病院	〒206-8512 多摩市永山1-7-1	042-371-2111
	南多摩病院	〒193-0832 八王子市散田町3-10-1	042-663-0111
回復期・ リハビリ病院	永生病院	〒193-0942 八王子市栲田町583-15	042-661-7939
	新天本病院	〒206-0036 多摩市中沢2-5-1	042-310-0333
	多摩丘陵病院	〒194-0297 町田市下小山田町1491	042-797-1511
	東京天使病院	〒193-0811 八王子市上壱分方町50-1	042-651-5331
維持期病院	厚生荘病院	〒206-0001 多摩市和田1547	042-374-3535
	三愛病院	〒192-0005 八王子市宮下町377	042-691-4111
	日野田中病院	〒191-0053 日野市豊田2-32-1	042-584-5251
	陵北病院	〒193-0153 八王子市西寺方315	042-651-3231
特別養護 老人ホーム	愛生苑	〒206-0001 多摩市和田1547	042-376-3555
	和光園	〒206-0001 多摩市和田1532	042-374-2590
老人保健施設	あい介護老人保健施設	〒206-0036 多摩市中沢1-17-38	042-374-7111
	エンジェルコート	〒193-0811 八王子市上壱分方町50-1	042-651-5331
	南大沢ホロス由木	〒192-0364 八王子市南大沢2-224-5	042-678-2111
有料老人ホーム	ケアセンターつくしんぼ	〒195-0072 町田市金井5-20-16	042-734-0255
薬局	アポロン薬局 是政店	〒183-0014 府中市是政5-7-4	042-361-7461
	龍生堂薬局	〒169-0073 新宿区百人町1-15-18	03-3361-4121
かかりつけ 歯科医	内田歯科医院	〒191-0016 日野市神明4-18-27	042-587-6880
	小川歯科クリニック	〒194-0023 町田市旭町1-8-13	042-722-1999
	康仁歯科医院	〒195-0062 町田市大蔵町1108	042-734-6800
	富士見台歯科医院	〒192-0045 八王子市大和田町5-33-17	0426-46-5499

種別	病院名	住所	電話番号
かかりつけ医	あいクリニック	〒206-0012 多摩市貝取1431-3	042-339-1733
	おおぬき内科クリニック	〒192-0355 八王子市堀之内2-6-5-101	042-678-2771
	数井クリニック	〒192-0911 八王子市打越町2001-16 3F	042-635-1888
	からきだ駅前クリニック	〒206-0035 多摩市唐木田1-1-7 1F	042-376-3800
	簡野クリニック	〒206-0823 稲城市平尾1-50-20	042-331-8570
	さくらメディカルクリニック	〒194-0213 町田市常盤町3200-1 2F	042-797-9671
	武島内科クリニック	〒206-0033 多摩市落合3-11-3	042-338-5665
	田村クリニック	〒206-0033 多摩市落合1-32-1 4F	042-356-0679
訪問看護	西嶋病院	〒194-0043 町田市成瀬台3-8-18	042-726-7871
	百草の森ふれあいクリニック	〒191-0033 日野市百草1042-22	042-599-7068
	あい訪問看護ステーション	〒206-0012 多摩市貝取1431-3	042-371-6888
	在宅療養支援ステーション かえでの風	〒194-0031 町田市南大谷1398-2	042-732-2061
	八王子医師会 堀之内訪問看護ステーション	〒192-0363 八王子市別所1-6-1 202号	042-678-7390
	指定居宅介護 支援事業所	〒192-0355 八王子市堀之内1206	042-679-8491

賛助企業紹介

会社名	TEL	FAX
明治乳業株式会社	03-3305-4351	03-3305-4357
テルモ株式会社	042-367-6534	042-367-4498
株式会社メディコン	03-5812-3511	03-5812-3512
味の素ファルマ株式会社 東京支店	03-5337-2517	03-3371-5941
株式会社大塚製薬工場	03-5217-5964	03-5217-5977
株式会社星医療酸器 横浜営業所	045-852-8170	045-852-8162
株式会社ヘルシーネットワーク	042-581-1192	042-583-9634
アポロン薬局 是政店	042-361-7461	042-361-7455
オリンパスメディカルシステムズ株式会社	03-6901-4010	03-6901-4920
アボットジャパン株式会社	042-528-1061	042-528-1066
株式会社龍生堂本店	03-3361-4121	03-3360-0469
ネスレニュートリション株式会社	03-5769-6238	03-5769-3780
株式会社クリニコ	042-590-1506	042-561-1801
株式会社トップ	03-3811-9915	03-3811-7515



NPO法人

多摩胃ろうネットワーク

<http://www.tama-irount.com>